

『VIEW21』高校版・2020年度「実践AL」授業デザインシート

【教科・科目】	コミュニケーション英語Ⅲ
【分野・単元】	Chapter1 Jigoro KANOU
【テーマ・作品】	オリンピック後の施設をどう使うか(グループでプレゼンをしよう)
【設定時数】	全6時間(6時間目)
【単元の目標】	テーマに沿って自分の意見を表現し、相手の意見を聴きメタ認知能力を高める

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	・アイスブレイキング ・新出単語の確認 ・本文を速読し、問いに答える(WPM)でスコアを付ける ⇒可視化できるようにスコア表を作成	・間違いを恐れず、英語で表現することができる ・これまで学習した知識や新出単語を用いて、速読力を身につける	・知識・技能 ・表現力・思考力・協働性	・アイスブレイキングを行う ・新出単語の確認はクイズ形式で答えていく(5分)→この5分の中でできた人から持ってこさせ答え合わせ→アクセントを含め隣と交換をして答え合わせ(後にフラッシュカードへ) ・1分間で問題を速読させる→本文を速読させる→時間を告げる→時間を区切り、できた人から答えをもってこさせ解答(持ってきた生徒のみポイント)				・速読表にスコアを入れる
2	・アイスブレイキング ・新出単語の暗記 ・訳先渡し方式で、同時通訳法(前半)	・間違いを恐れず、英語で表現することができる ・新出単語を暗記することができる ・音読を行うことで、内容を正しく理解し、速読力を身につける	・知識・技能 ・表現力・思考力・協働性 ・多様性	・アイスブレイキングを行う ・単語の音読→マンプリングにより、単語を5分間で暗記する→ペアで単語の確認を行う(1問につき5秒) ・マンプリングで、本文の内容を暗唱(5分)→ペアで同時通訳を行う		・簡単な評価カードを作成することによりペアワークへの取り組みを促す		・単語シートにチェック欄あり ・同時通訳シートにチェックを入れる ・教師使用の評価カード(使用しない可能性が大)
3	・アイスブレイキング ・新出単語の確認 ・本文内容(前半)の確認(「問い」に対する答え合わせを同時に) ・リテル ザ ストーリー	・間違いを恐れず、英語で表現することができる ・新出単語を定着させることができる ・内容を深く理解することができる	・知識 ・表現力・思考力・協働性 ・主体性・判断力	・アイスブレイキングを行う ・フラッシュカードにて新出単語の確認を行う ・あらかじめ扱う文章は生徒に書かせておく(健康(目)への配慮を考え黒板を使う)→質問は英語で行いながら本文の内容を英語で答えさせる→問いの答え合わせ、難解な文章を解説する(20分) ・電子黒板を見ながら、本文の内容を復唱する→やりたい人に手を上げさせ発表をさせる				
4	・アイスブレイキング ・新出単語の確認 ・同時通訳法(後半) ・本文確認(後半)の確認(「問い」に対する答え合わせを同時に)	・間違いを恐れず、英語で表現することができる ・新出単語を暗記することができる ・音読を行うことで、内容を正しく理解し、速読力を身につける	・知識・技能 ・表現力・思考力・協働性	・アイスブレイキングを行う ・フラッシュカードにて新出単語の確認を行う ・マンプリングで、本文の内容を暗唱(5分)→ペアで同時通訳を行う ・あらかじめ扱う文章は生徒に書かせておく(健康(目)への配慮を考え黒板を使う)→質問は英語で行いながら本文の内容を英語で答えさせる→問いの答え合わせ、難解な文章を解説する		・簡単な評価カードを作成することによりペアワークへの取り組みを促す		・同時通訳シートにチェックを入れる ・教師使用の評価カード(使用しない可能性が大)
5	・アイスブレイキング ・新出単語の確認 ・本文確認(後半)の確認(「問い」に対する答え合わせを同時に) ・本文のテーマに関する英作文⇒ネイティブが添削	・間違いを恐れず、英語で表現することができる ・新出単語を定着させることができる ・内容を深く理解することができる	・知識 ・表現力・思考力・協働性 ・判断力	・アイスブレイキングを行う ・フラッシュカードにて新出単語の確認を行う ・あらかじめ扱う文章は生徒に書かせておく(健康(目)への配慮を考え黒板を使う)→質問は英語で行いながら本文の内容を英語で答えさせる→問いの答え合わせ、難解な文章を解説する(20分) ・本文の内容に関連した問題を作成し、生徒の考えを英作文させる→できなければ宿題にする→授業外:後にネイティブに渡し、添削をしてもらう	・今回の英作文テーマに関して自ら調べることにより、発表への意識を高める			
6	・アイスブレイキング ・新出単語の確認 ・スモールプレゼンテーション	・間違いを恐れず、英語で表現することができる ・新出単語を定着させることができる ・他者の意見を聴き、自分の今後の考え方を広げることができる ・自分の意見を相手に伝えることができる	・表現力・思考力・判断力 ・主体性・協働性	・アイスブレイキングを行う ・フラッシュカードにて新出単語の確認を行う ・各自の作った英作文の確認と音読により自分の文書を暗唱→プレゼンの注意点の説明→リハーサルをする→グループを4~5名でつくり、プレゼンをする ⇒聞き手はルーブリックにて評価		・ルーブリックにコメントをつけることで、評価と同時に相手の意見を知ることができるように配慮した	・今回の発表のテーマは「オリンピック・パラリンピック終了後、建てられたスタジアム等の施設をどのように使用するか?」である。SDGsへとつながるヒントが得られるようにテーマを設定した	・ルーブリックにより他者評価